考古学講座@山添村歴史民俗資料館
（2024/01/14）

“歴史のものさし”をつくる

ー山添村と縄文考古学のあゆみー

南山大学人文学部人類文化学科
上 峯 篤 史

1

私の考古学経験から

■ 上峯篤史：1983年生, 山添村遅瀬出身

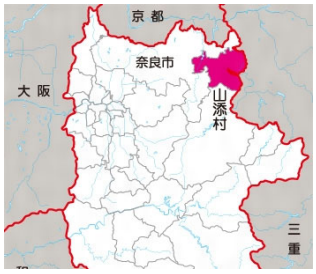
■ 経歴

～1997年度 → 三重県立上野高等学校 1998～2000年度 → 立命館大学 2001～2004年度

→ 同志社大学 Doshisha University 2005～2011年度 → 京都大学 KYOTO UNIVERSITY 2012～2018年度 → 南山大学 2019年度～

■ 山添村の知名度

■ “3分の1”としての縄文遺跡

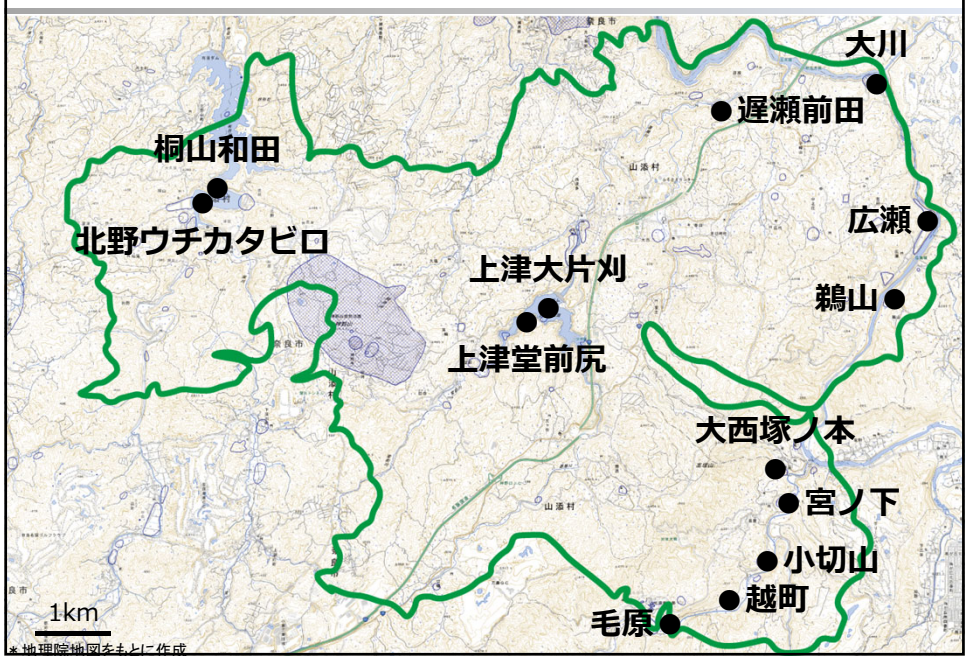


*https://kotobank.jp/word/%E5%B1%B1%E6%B7%BB%28%E6%9D%91%29-1602643

#2/16

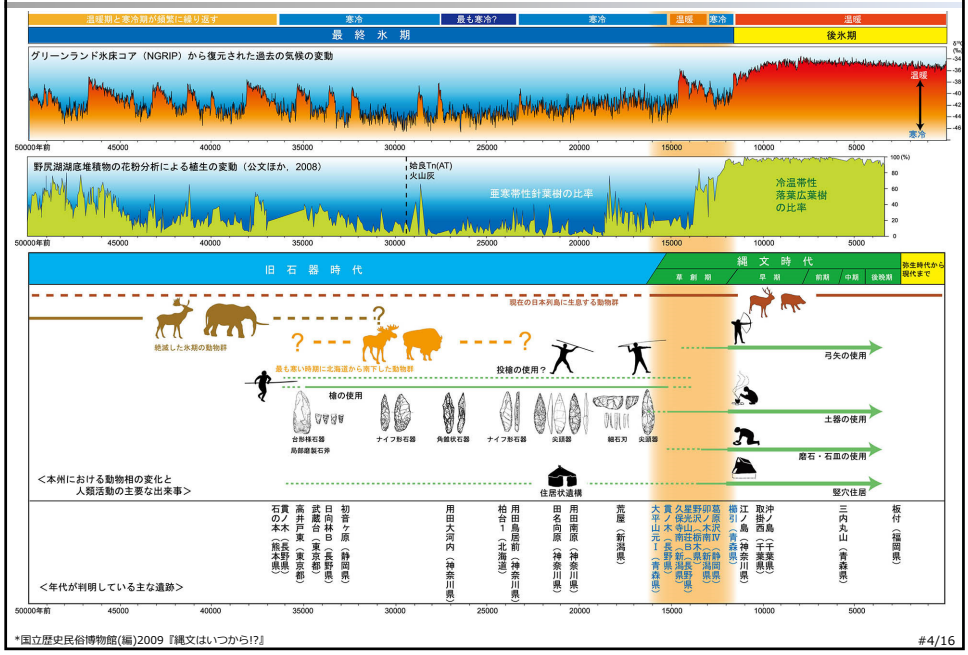
2

山添村の縄文時代遺跡

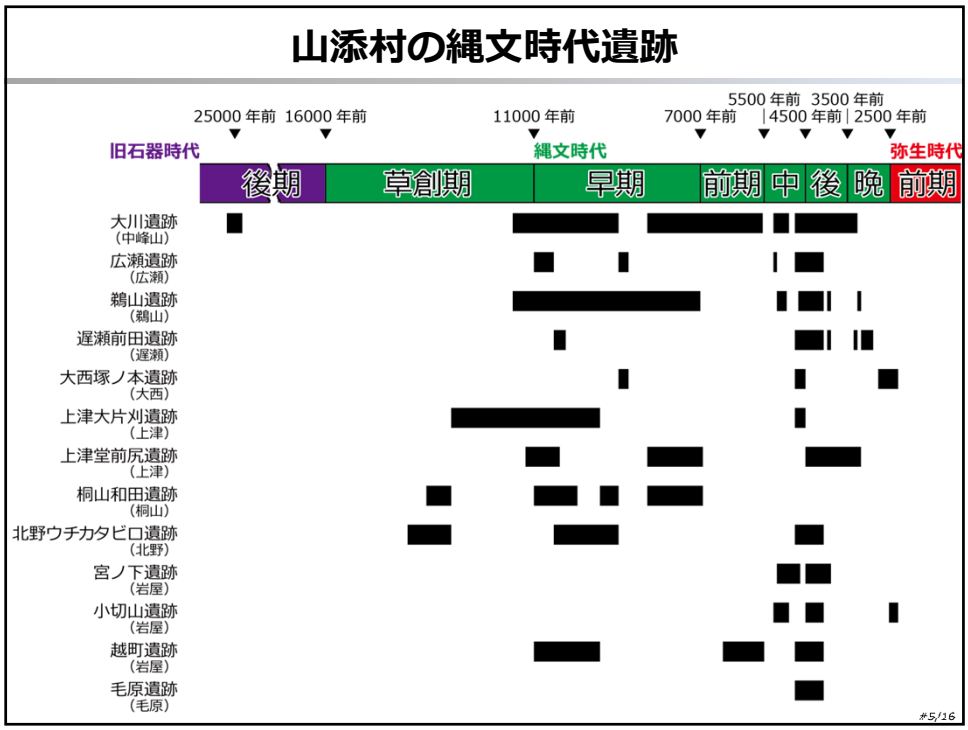


3

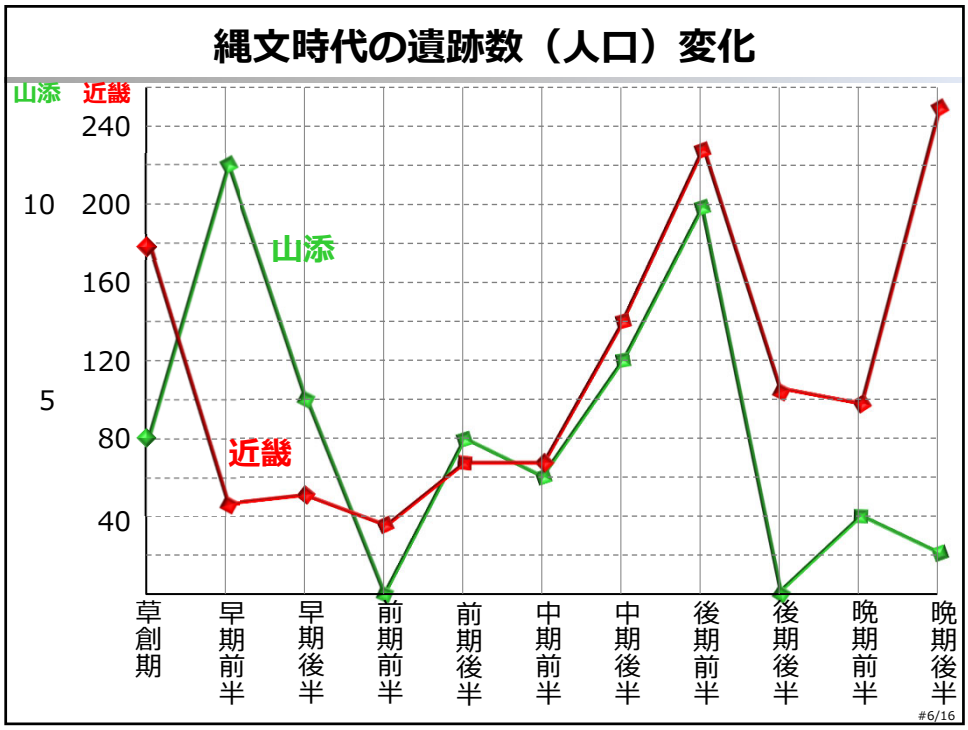
縄文時代の気候



4

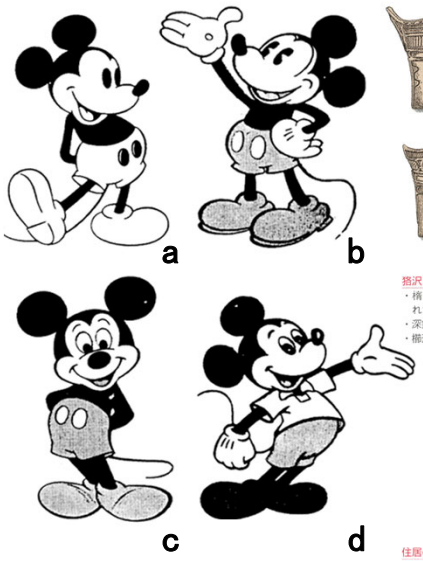

山添村の縄文時代遺跡
25000 年前
16000 年前
11000 年前
7000 年前
5500 年前
4500 年前
3500 年前
2500 年前
旧石器時代
縄文時代
弥生時代
後期
草創期
早期
前期
中
後
晩
前期
大川遺跡（中峰山）
広瀬遺跡（広瀬）
鵜山遺跡（鵜山）
遅瀬前田遺跡（遅瀬）
大西塚ノ本遺跡（大西）
上津大片刈遺跡（上津）
上津堂前尻遺跡（上津）
桐山和田遺跡（桐山）
北野ウチカタビロ遺跡（北野）
宮ノ下遺跡（岩屋）
小切山遺跡（岩屋）
越町遺跡（岩屋）
毛原遺跡（毛原）
#5/16

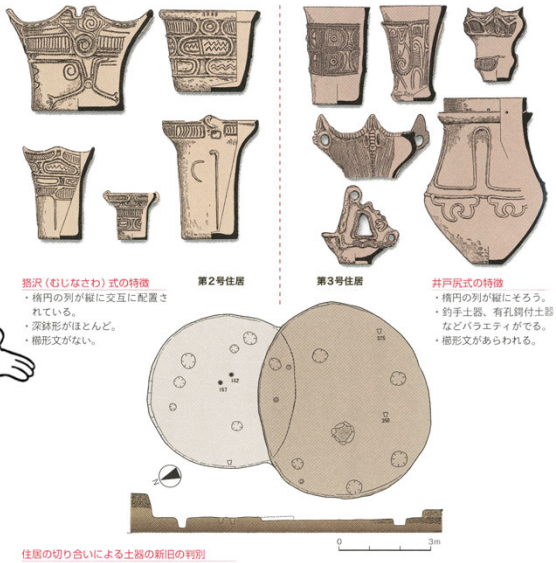
5


縄文時代の遺跡数（人口）変化
山添
近畿
10
5
240
200
160
120
80
40
山添
近畿
草創期
早期前半
早期後半
前期前半
前期後半
中期前半
中期後半
後期前半
後期後半
晩期前半
晩期後半
#6/16

6

編年（時間のものさし）を作る方法





搭沢（むじなさわ）式の特徴
・楕円の列が縦に交互に配置されている。
・深鉢形がほとんど。
・櫛形文がない。

井戸尻式の特徴
・楕円の列が縦にそろう。
・釣手土器、有孔鍔付土器などバラエティがでる。
・櫛形文があらわれる。

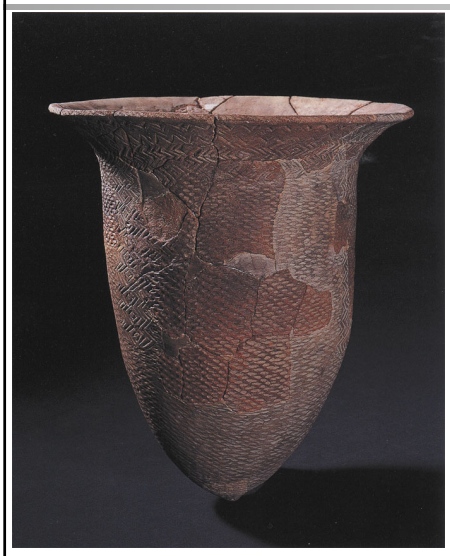
住居の切り合いによる土器の新旧の判別
中部高地の縄文中期の例（長野県富士見町井戸尻遺跡）：密集して発見される竪穴住居が切り合う関係にあるとき、古い家の土器よりも、新しい家の土器のほうが新しいことになる。第2号住居（左）を壊して第3号住居（右）がつくられた。だから、第2号住居の土器（搭沢式土器）より、第3号住居の土器（井戸尻式土器）が新しい。

＊鈴木公雄 1981「特論一型式・様式」『縄文土器大成』4 講談社, 小野昭 2020『考古学ハンドブック』新泉社。

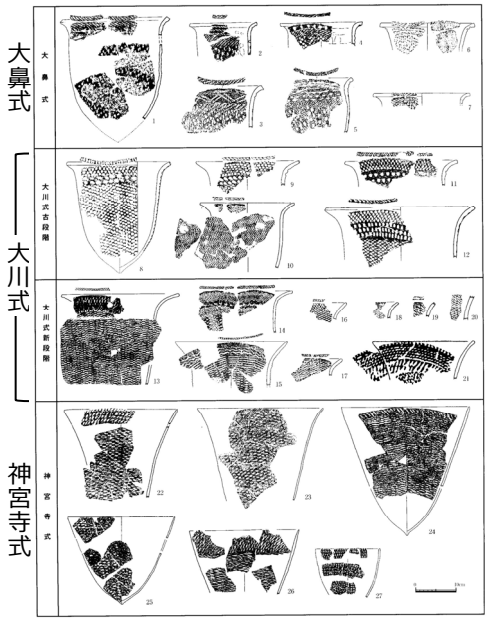
#7/16

7

大川式土器の認識：大川遺跡



大川式土器（大川遺跡）

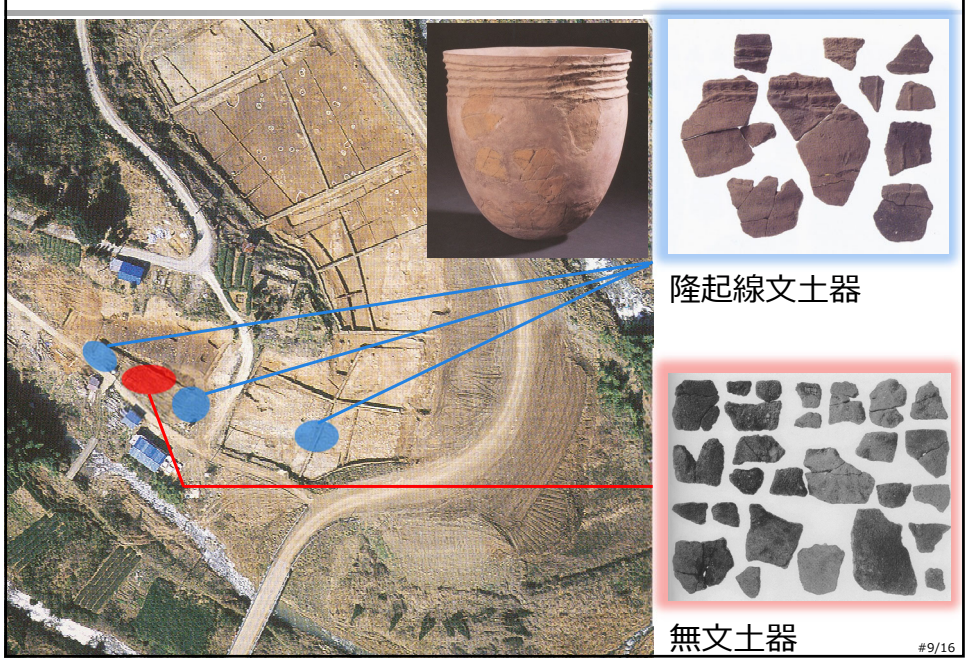


＊奈良県立橿原考古学研究所附属博物館（編）2001『縄文文化の起源を探る』, 矢野健一（2008）「押型文土器 大川式・神宮寺式土器」『総覧縄文土器』。

#8/16

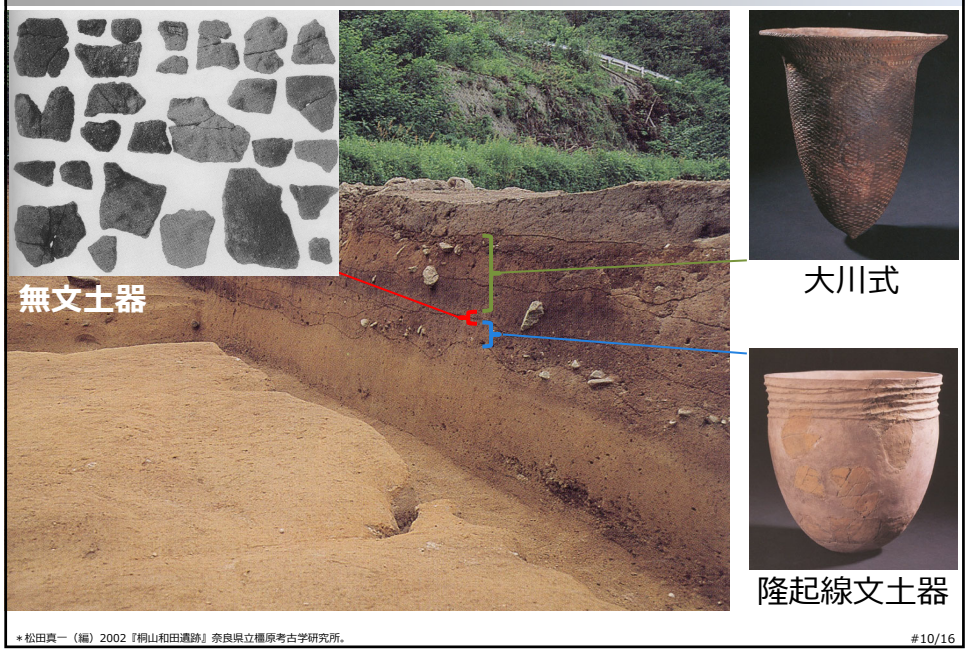
8

無文土器段階の認識：桐山和田遺跡



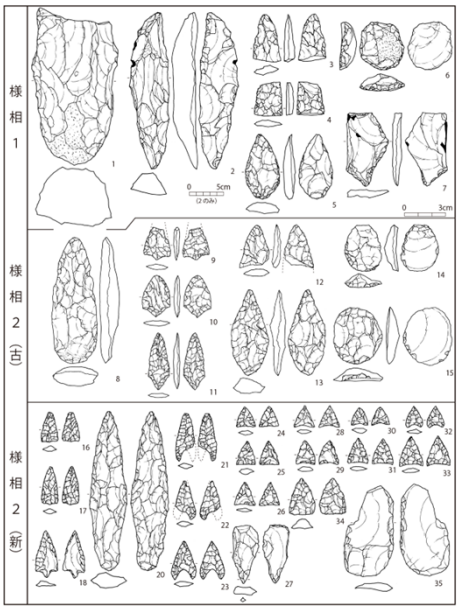
9

無文土器段階の認識：桐山和田遺跡



10

縄文石器の変遷：草創期前半



？？？？？？ 【山添村の遺跡】

約15000年前

約14000年前

北野ウチカタビロ遺跡
桐山和田遺跡

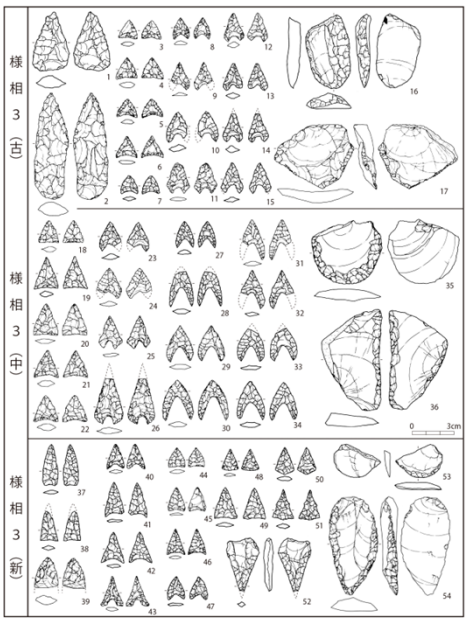
約13000年前

＊上峯篤史 2018『縄文石器』京都大学学術出版会。

#11/16

11

縄文石器の変遷：草創期後半



約13000年前

桐山和田遺跡

約12000年前

上津大片刈遺跡

約11500年前

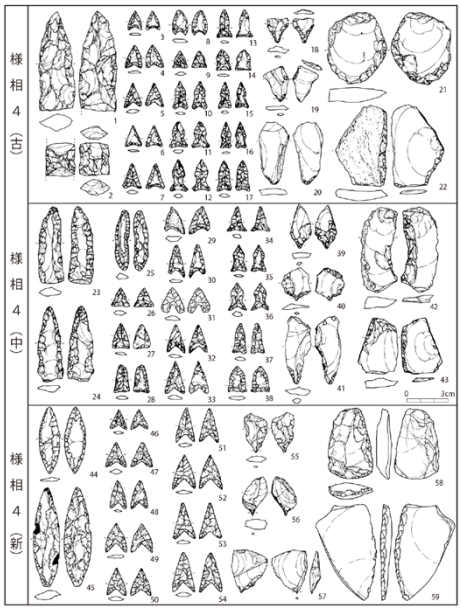
約11150年前

＊上峯篤史 2018『縄文石器』京都大学学術出版会。

#12/16

12

縄文石器の変遷：早期前半



約11150年前

鵜山遺跡
大川遺跡

約10750年前

鵜山遺跡
大川遺跡

約10550年前

大川遺跡

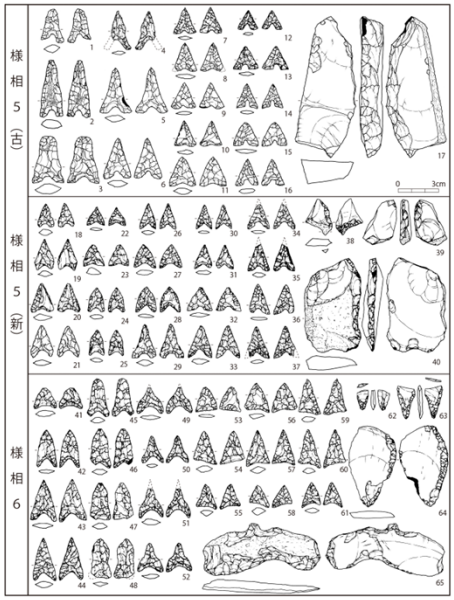
約9950年前

＊上峯篤史 2018『縄文石器』京都大学学術出版会。

#13/16

13

縄文石器の変遷：早期後半



約9950年前

約8650年前

鵜山遺跡
桐山和田遺跡

約7420年前

約6500年前

＊上峯篤史 2018『縄文石器』京都大学学術出版会。

#14/16

14

学術研究の役割

■新たな価値を生み出す

偶然残され，発見された遺跡から，誰も知らなかったことを明らかにする

■科学的な考え方を社会に広める

「一般の人々を科学に関わらせることには，より次元の高い目標もある。それは，科学の文化である正確さの重視，真実の追究，批判的な質問，健全な懐疑主義，事実と不確実性の尊重，自然の豊かさと人間の精神に対する畏怖といったことを一般の人々が学ぶことによって，社会が向上していくことだ。」

（ロベルト・ダイクラーフ 2020「明日の世界」『「役に立たない」科学が役に立つ』東京大学出版会）

#15/16

15

まとめ

■山添村には縄文時代草創期～早期の遺跡が，特に密集して残されている

■山添村の縄文遺跡の論理的な研究から，土器編年や石器編年など「歴史のものさし」が作られた

■山添村の遺跡の量と質からは，今後も新たな研究成果（＝新たな価値）が生み出せる

■研究の経過や考え方を学校教育・社会教育に活かせば，科学的な考え方を伝えられる

#16/16

16